

## 実践記録（小6・総合）

### 1 ねらい

調べた見学地の見所や友達に伝えたいことを考え、分かりやすく整理することができるようにする。

### 2 手立て

- ・ 意欲を高めるための工夫

児童が主体的に学習できるように、児童の関心の高い修学旅行の内容を取り上げる。また、教師自らが情報の整理の仕方を実演することで、学習方法が理解しやすくなり、情報の整理の仕方に対する難しさを減らすことができる。

- ・ 集めた情報を整理する工夫

共通点や相違点を明確にし、情報の取捨選択や関連付けができるように思考ツール「フィッシュボーン」を活用する。「フィッシュボーン」を以下のような流れで使用していく。

- ① 魚の頭の部分に、調べたことのテーマを記述する。
- ② 魚の骨格の部分に、調べた内容を分類しながら情報を記述する。
- ③ 調べた情報をもとに、骨格それぞれの名前を考え記述する。

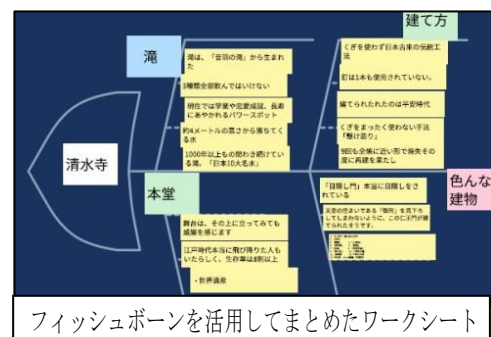
### 3 実践の様子

本学習は、修学旅行の事前学習として行った。児童は、本時までに一人一つ見学場所を選び、修学旅行の見所や、その見学場所のことで友達に伝えたいことを調べていった。

本実践では、まず、フィッシュボーンを活用して情報の整理の仕方を確認した。実際に、教師が調べた「熱田神宮」についての情報を整理して見せることで、児童は本時で行う内容が明らかとなった。

次に、実際にフィッシュボーンを活用して、調べた情報を整理させた。児童は事前に線を引いた箇所を使って、付箋に情報を書き出して整理していた。整理していくことで、同じような内容を視点ごとにまとめていくことができた。見つけた視点に名前を付けているときには、少し迷っている児童もいた。

最後に、同じ見学先を調べた友達と交流を行った。友達と交流をすることで、自分が分かっているつもりでも、友達が分かっていない内容があることを知った児童は、すぐに調べ直して、フィッシュボーンを修正することができた。



### 4 成果と課題

○ 児童一人一人が視点を考えて整理することで、何が必要な情報で、どのようなことをもっと調べたらよいかを考えながら活動することができた。

● 最初に児童に流れを見せたことで、先に先に進んでしまう児童がいた。全体で確認しながら行う時は、時間を決めて行うべきであった。